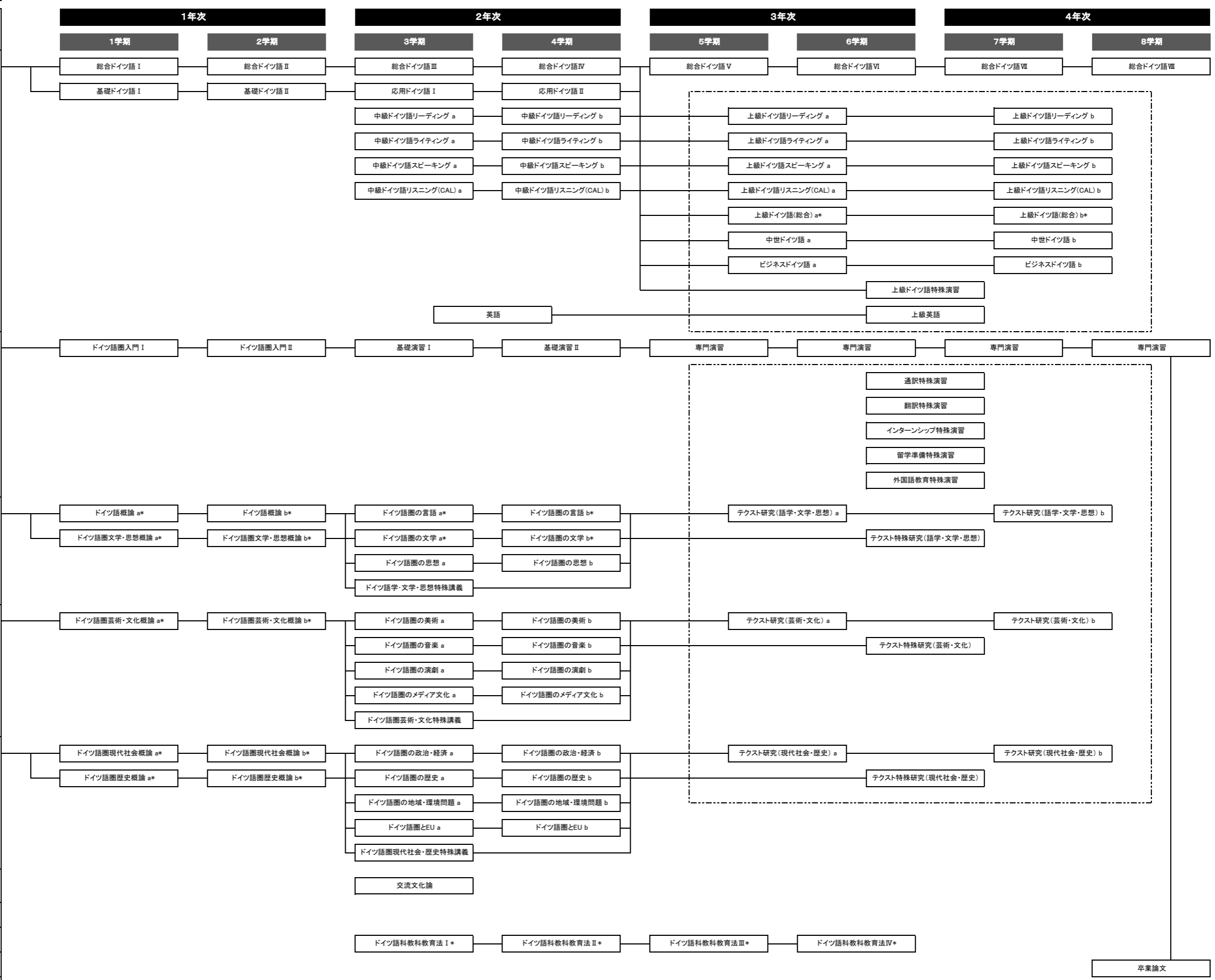


ドイツ語学科 履修系統図

科目群	部門	科目群・部門の学修・教育目標
外国語科目	初級・中級ドイツ語、英語、上級ドイツ語、上級英語	「聞く」「話す」「読む」「書く」というドイツ語の4技能を総合的に修得し、ドイツ語を用いて他者とのコミュニケーションを図り、異文化を理解し情報を収集するのに必要な能力を養成し、さらに高度な能力を身に付けることでさまざまな事柄についてドイツ語の文章で表現することやドイツ語で議論できるようにすることを教育目標とする。
		ドイツ語圏入門、基礎演習、専門演習、特殊演習
概論・専門講義・テキスト研究科目	言語・文学・思想	修得された高度な語学能力を活かし、ドイツ語を一言語の体系として探求すると同時に、ドイツ語圏において産み出される文学・思想などについて多様な視点からアプローチすることを通して、ドイツ語を語学に限定することなく理解を深め、得られた知識を活用してドイツ語圏の言語・文化・思想に関わる事柄について適切に問題を設定して論理的に論述・議論する能力を養うことを教育目標とする。
	芸術・文化	修得された高度な語学能力を活かし、美術や音楽、演劇、メディア文化など、ドイツ語圏における芸術・文化の多様な専門領域に関する知識を体系的かつ横断的に修得し、その知識を活用してドイツ語圏の芸術・文化に関わる事柄について適切に問題を設定して論理的に論述・議論する能力を養うことを教育目標とする。
	現代社会・歴史	修得された高度な語学能力を活かし、政治や経済、歴史、地域・環境問題、EUとの関係など、ドイツ語圏の社会・歴史の多様な専門領域に関する知識を体系的かつ横断的に修得し、その知識を歴史的かつ現代的な事象と結び付けて考察し、なおかつ具体的に駆使してドイツ語圏の社会・歴史に関わる事柄について適切に問題を設定して論理的に論述・議論する能力を養うことを教育目標とする。
	交流文化	交流文化に関する各種分野について特定の専門知識を修得し、分析し、自らの見解を提示できるようにすることを教育目標とする。
学科総合講義	ドイツ語圏の歴史・文化・社会について興味・関心を高め、概括的な知識を修得し、分析を行い見解を提示できるようにすることを教育目標とする。	
免許	教職免許「外国語(ドイツ語)」の取得に必要な教科の指導法を修得し、中学校・高等学校でのドイツ語教育を実践できるようにすることを教育目標とする。	
卒業論文	ドイツ語圏の歴史・文化・社会に関して、テーマを設定し、調査・研究を進め、その成果を卒業論文として提出できるようにすることを教育目標とする。	
外国語学専攻科目	外共の欄を参照	
全学共通授業科目	全カリの欄を参照	
【備考】 点線の枠内は5～8学期にかけて履修する科目 *付の科目は、ドイツ語の教科及び教科の指導法に関する科目		



卒業論文